

2022年10月28日

各位

会社名 株式会社センチュリー21・ジャパン
 代表者名 代表取締役社長 園田 陽一
 (コード番号: 8898 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務執行役員企画本部長 高橋 龍二
 (TEL: 03-3497-0021)

剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想決定に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、2022年4月26日に公表いたしました「2022年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」において、未定としておりました2023年3月期の中間配当につきまして、2022年9月30日を基準日とする剰余金の配当額（中間配当）及び期末配当予想額を決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 剰余金の配当（中間配当）の内容

	決定額	直近の配当予想	前期実績 (2022年3月期 中間)
基準日	2022年9月30日	同左	2021年9月30日
1株当たり配当金	20円00銭	—	25円00銭
配当金総額	208百万円	—	260百万円
効力発生日	2022年12月1日	—	2021年12月1日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 期末配当予想の修正の内容

	1株当たり年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2022年4月26日発表)	—	—	45円00銭
今回修正予想		25円00銭	45円00銭
当期実績	20円00銭		
前期実績 (2022年3月期)	25円00銭	20円00銭	45円00銭

3. 配当予想の理由

(1)2023年3月期通期業績予想について

当第2四半期までの業績は今期の計画に対して堅調に推移しておりますが、通期業績予想については以下2点の理由から据え置きとしております。

- ① 建築資材の高騰、金利変動観測、消費者物価指数上昇による購買意欲への影響等が懸念され、引き続き事業環境は不透明であること
- ② 前期前半に稼働した新基幹システムによる減価償却費の年間負担並びに加盟店獲得強化費用の増加などを見込んでいること

(2)配当予想について

当社は株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つとして位置づけ、安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。

2023年3月期の配当予想につきまして、第2四半期については未定、年間配当予想については45円としておりましたが、このたび第2四半期末の業績を踏まえ、中間配当額を20円と決定いたしました。また、現時点での通期業績予想を踏まえ、年間配当予想額を45円に据え置き、期末配当予想額は25円としております。

※業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上